

副専攻「AI・データサイエンス」3つのポリシー

副専攻「AI・データサイエンス」の目的

本副専攻の目的は、AI やデータサイエンスの知識と技能、創造的思考力を身につけ、卒業後の社会における AI やデータサイエンスの活用の基礎力を育成することです。また、AI やデータサイエンスの進歩による社会の変化、技術の革新に対応する柔軟な力を養うことです。

求める学生像

AI やデータサイエンスの知識と技能の修得とその活用には、探究心や好奇心、自ら学び創意工夫する意欲が大切です。そのため本副専攻では、以下のような意欲を持つ学生を文系・理系の素養を問わず広く求めます。

1. AI やデータサイエンスの知識と技能を活用して、社会の様々な問題を深く探求したいと望む学生。
2. AI やデータサイエンスの知識と技能を活用して、卒業後の社会で新たな発見やアイデアを生み出すことに挑戦したいと望む学生。
3. AI やデータサイエンスの知識と技能を卒業後も自ら学び続け、学んだことを実践したいと望む学生。

修了証授与の方針

本副専攻の目的を達成するために、以下の到達目標を定めます。所定の科目と資格を修得し、以下の力を身につけた履修者に対して「修了証明書」(AI・データサイエンス)を授与します。

【知識・理解】

1. AI やデータサイエンスの活用の倫理を知り、有用性や可能性、限界を理解している。(リテラシー)
2. 統計処理やデータ解析を行う上で必要な数理的知識と理論、方法を体系的に理解している。(方法論)

【技能】

3. 分析ソフトやプログラムを使いデータを効率的に扱うことができる。(ハンドリング)
4. 分析ソフトやプログラムを使い統計処理やデータ解析を的確に実行することができる。(実装)

【創造的思考力】

5. 自らが立てた新たな課題に AI やデータサイエンスの知識と技能を適用し、その課題を解決できる。(総合力)

教育課程編成・実施の方針

本副専攻の到達目標を達成するために、カリキュラムの編成・実施の方針を定めます。AI やデータサイエンスの知識と技能の修得、創造的思考力の涵養に必要な科目を網羅し、体系的に学修が行えるよう工夫されています。また、各自の興味・関心に応じて柔軟な履修ができるよう配慮されています。

【分野】

1. AI やデータサイエンスを幅広く体系的に学修できるよう、「情報」「統計」「専門領域」の3分野に科目を配置します。
2. 「情報」分野では、AI、コンピュータ、ネットワーク、セキュリティ、プログラミングなどを学びます。「統計」では、統計の理論と方法、データ解析の理論と方法などを学びます。「専門領域」では、所属する学部学科の専門性に応じて統計やデータ解析の理論と方法などを学びます。
3. AI やデータサイエンスの学修に必須となる知識と技能は、「必修科目」によって確実な修得を促します。

【段階】

4. 学修を着実に深めるため、「導入」「基礎」「応用」の3段階に科目を配置します。
5. 「導入」では、初学者がAI やデータサイエンスを「楽しく」「分かりやすく」学ぶことができる内容を実施します。「基礎」では、AI やデータサイエンスを学ぶ上で必要な教養レベルの知識、基礎レベルの技能を学びます。「応用」では、各分野の知識・技能を複合的に使ってAI やデータサイエンスを学ぶことができる内容を実施します。

【方法】

6. AI やデータサイエンスの社会での活用事例などを豊富に使い、履修者の興味・関心を深める内容を実施します。
7. 知識の理解では講義を中心に、技能の修得ではコンピュータや分析ソフトを使った実技を中心に実施します。応用力を高めるため実データや実課題を使った演習も取り入れます。

修了には、本副専攻の定める必修科目と必要単位数の修得、以下の資格のうち1つ以上を取得することが必要です。

社会調査士、MicrosoftOfficeSpecialist(MOS,Excel)、ITパスポート、統計検定2級以上、ビジネス数学検定3級以上、G検定

2021年2月5日

敬愛大学

AI・データサイエンス教育研究会